

同志会新聞

Miyakoen Flower Net Service 生産者 ログイン 開始

利用手順

同志会会員のみの利用となります。同志会に未加入の方は、同志会加入が必要で

す。インターネット接続のお済の方は、市場までお申込ください。IDとパスワードを発行いたします。

利用範囲

生産者ログイン画面で利用可能な範囲は、現時点では、新着情報・市況情報のみです。

新着情報には、セリ日当日の状況をセリ担当者が交代で記載しセリ場の状況等をお知らせしていきたいと思

います。市況状況は過去にさかのぼり品目別の入荷量、高値、中値が見れます。昨年と比較して、本年の入

荷量は等々の比較もパソコンを駆使することにより調べることが可能です。

利用限度

現在のシステムでは前記の内容でしか利用が出来ません。

システムの公開をおこなうと次々と問題を指摘いただきますが、現在のNet Serviceでは内容の変更は不可能であります。四、五年後にシステム変更がある場合は皆様方の意向に沿える形でのシステム構築を図って生きたいと思

います。今回のシステムの目玉は、新着情報のセリ子の直接の声が聞ける点では無いかと思

発行日 H18.11.28
発行者 生産者同志会
(株)都城園芸花市場
編集者 原田 修作



苗の無料配布に並ぶ人々

第五回市場祭り 開催される

十一月五日日曜日第五回都城市公設市場祭りが開催されました。

一年に一回市場を開放し

回で五回目となりました。

当日は八時三十分からの予定が、七時過ぎには多くの市民の皆さんが場内に入られ、野菜、果物、花を買い求めておられました。一番の人気は、魚の即売でマグロの解体即売には多くの市民の皆さんが並ばれたようです。(自分とところが忙しく見に行く暇が無く正確ではありません)

花市場では、花苗の無料配布が先着二百名におこなわれましたが、早い時間から写真のとおり、長蛇の列となりました。早い方は一時間前から並ばれ、職員は整理に追われていた。

買受人組合は、恒例のアレンジ講習会を開き多くの市民の方がアレンジに取り組みました。本年は参加費一人三百円で整理券を販売されていたが、約一時間程度で完売した。



交通整理



正月をイメージしたアレンジ

ぶらりう 洋子

早いもので、もう師走

いいです。

同志会の皆さんお元気ですか。生産者の方には周年出荷の方もいらっしゃるけれど、松、千両といった年一回の出荷の方もいらっしゃると思います。それぞれにあった情報を私共市場はインターネットや電話等で発信しておりますが、情報とは、文字になった時にはすでに遅く、文字と人との輪の中に『あると

市場は、生産者の顔や買参人の顔も見えています。買受の欲する商品をタイムリーに供給できればベストであり、それが市場の機能でもあります。そのため、生産指導、早期出荷のための情報を発信する事が責務でもありません。御協力を宜しくお願ひします。年末商戦頑張ってくださいませ

よう。

“正月” 覚えている人も多いと思いますが、お正月が来ると新しい洋服、靴、女の子は羽子板やマリをもらい・・・玄関にはしめ縄を飾り、シラスが撒かれ、玄関には花が活けられ・・・これが都城のお正月だった。

地方によって風習が違うかもしれないが、床の間の花は全国共通であろう。そんな床の間の花も前方から見て美しいように活けられていた。しかし、現代では横や後ろからも美しく見える活け方が取り入れられている。

ある華道家は目の前だけではなく、眼に見えない心の奥を考えながら活けるのだと云われました。

そして、花の命を表現するのに代表作はアジサイだと。

アジサイは白から青く色をつけ紫色へ、そして茶色っぽく変わる様・・・この移り色香は何とも云えず自然すなわち生きているそのものだ。

そして、私の好きな桜について、「桜をみるとなぜか心騒ぐでしょう。それは早くしないと桜の花が散るからです。」と言われ、人間は花を見ただけで心が何

かを感じ取っているのだなと思いました。

蛇足であるが、釣りをされる方は多いと思うが、大漁の時は、嬉しいですね。誰かに話をしたい。酒だっですすみませぬ。しかし、仲間を失った魚達は、静かに海の底で、釣られていった仲間を吊っているのだそうです。

人間は言葉を伝えたり、文字にしたり態度で現す事も出きる。『しかし、心の奥は解らない』気遣い、思いやりを忘れずに、今年に感謝、来年に感謝。

洋子



作品製作中

正月・Xマス アレンジ講習会

花屋さん“元氣よく商売”をしてもらうために、盆前に開催した講習会第二段を、十一月六日月曜日にお正月・Xマスに向けてのアレンジ講習会を、市場・買受人組合合同で開催した。

今回は、買受人のご家族、従業員又Net会員の家族にも参加を呼びかけ、九十名弱の参加で盛大に講習会が開催できました。

講師は長崎県より、金澤利信氏と高木雄一郎氏をお招きした。金澤利信氏は、ハウステンボスや天皇陛下ご訪問先での、フラワー装飾を手がけ、現在までにフラワーデザインコンテストにおいて二十回以上の入賞をされた実力者である。

講習会の内容的には、クリスマスだからこの花、正月だからこの花と言ったような特定の花は無く、市場が主催で行なう講習会ですの花をいっぱい使ってくださいとの社長からの進言があり、急遽正月用に、松・千両を使ったアレンジが披露された。

最後に入社二年目の宮島がオークションを行い今回の講習会は終了した。

今回の講習会を開催するに当たり、買受人組合員の方々の参加も可能になったことから、当社商品の取引業者全ての皆様方を対象に、今後多くの勉強会が開催できるものと思ひます。次回開催予定は、二月か三月上旬頃にラッピング講習会を行なう予定となっております。

平成18年 当たらないかも！ 相場予想

今年も残すところ、後一ヶ月。十月下旬より始まった年末商材の産地視察等も、ほぼ終わり、荷物の到着を待つばかりとなりました。

この時期になると一年の経つのが早く感じられ、今年ももうすぐ終わるなという思いと、頑張るぞという思いが、交錯する時期でもあります。

平成十八年度は上半期の九月までは、雪解けの遅れ、前期の冬の異常な寒波から品薄傾向が続ぎ、単価高の市況展開であったが、十月後半からは、様相が一変し豊作型の入荷から、単価安の展開となってきた。

当公設市場内の青果市場も同様の相場展開となっており、苦しい販売の連続のようである。昨晩のNHKのニュースを見ていたら、ピーマンが価格が低迷しているため、廃棄処分中の映像が流れていたが、これから迎える冬場を前に重油等の値上がりを

予想？

において総じて良好と思われず。後は、何時花が咲くのか、必要な時に咲くか、あまり必要とされないときに咲くのか、ここが一番の問題であります。

予想とは、あらかじめ想像すること。また、想像した内容。(広辞苑)

今年の営業日程は、カレンダーのめぐりとしたときには、非常によく、最終市の二十九日が金曜日最終市まで期待の持てる環境となっております。

年末需要だけを考えての相場予想となると、小売店舗の本格的な仕入は二十五日以降と考えるのが順当でしょう。

ただ、今年の現在の天候、気温の高さを考慮すると、全ての商品が前倒しで咲いてくるものと考えられ、二

十五日以降に咲いてくる花がどれくらいになるのかが気になる場所です。

ここ数年の動きの中で相場予想をすると、「前進開花に高値なし」と言うのが業界の定説になっております。

それを打開するには、十五日から二十二日までに寒波がきてくれることが打開策となるでしょう。

この間に寒波が来ることに、より、パッキング業界の仕入が動き、葬儀業務での動きに期待をしたいところです。

ただし、年末早めの仕入を行なっていたら、パッキング関係も、近年のパッキング技術(機械も含め)の向上により暮れぎりぎりでの仕入が目立ってきており、今年も二十二日以降でも十分間に合う環境となっております。

そのためにも、寒波の襲来が今年には必須条件となりそうな感じがしております。

期待!

期待とは、心待ちに待つこと。将来その事が実現するだろうと待たまえること。(広辞苑)

今年の年末は、とにかく寒

波期待である。

この十一月の都城の気温を見ると十九日以降最低気温が十度を下回ったのが二日だけ、平均気温は十六度から十七度と過去二十年間のデータの中で最高の温度となっている。

ちなみに、昨年は十九日以降平均気温が八度代から九度と寒く、最低温度も五度から一度代を動いていました。

例年十一月後半から気温が下がり十二月に入りその流れで推移していきませんが、今年はどうなるのでしょうか？・・・

このような温度の高い年は開花スピードが一段と増します。採花後もスピードは衰えず、速い開花となるのが特徴です。

売り場で緩めの花は、保存は効きません。なるべく固めの採花が全体条件となりますので、くれぐれもご注意ください。！！！！！！

この文章書きながら、広辞苑に記載されている「期待」の意味と若干違って来たのを感じますが、必ず寒波が来ると、信じ期待を込めたいと思います。

寒くなれ！！！！寒くなれ！！！！



正月アレンジ 松・千両・ピンポン菊

平成18年年末年始営業日程

12月9日(土) 松市 松類・万年青
 16日(土) 千両市 千両・南天
 竹類・塗物
 花梅・ズバイ
 22日(金) 8:00 せり開始最終まで
 23日(土) 24日(日) セリは休み
 26日(火) セリは休み
 28日(木) 鉢物市 8:30より
 29日(金) 切花最終市

1月5日(金) 初市 8:30より

編集後記

組合新聞を引っ張り出して読み返してみた。

十一月後半から十二月上旬に発行した新聞に、こりもせず、当たらないかもの予想が載せてあります。昔から、相場の予想の中心は菊であります。今も昔も変わらず「菊が扱ければ皆扱ける」の世界です。今年の子想希望の中に書きました寒さの訪れも、例年一緒ですが、今年はずいぶんうなると思いたい。

今日は火曜日、市場には木曜日販売の商品が次々と入荷しております。秋苗物のピーク時期であります。パンジー・ビオラ・葉ボタン等この時期の定番商品が続々と入荷中です。先週葉ボタンが、やや値を上げてきた。先週日曜日のNHK趣味の園芸が葉ボタンの寄せ植えでした。それが原因なのか、各地の市場でこのシーズン一番の高値になったそうです。

先日、苗物を一生懸命生産していた、鉢物生産の、後継者の若者が突然急逝しました。勉強熱心で、出荷に来ると市場の中を隅々まで見て回

り、どのような商品が喜ばれるのか、みんなに好まれるのか等々、質問攻めに合うことも度々でありました。

突然の死で、ご家族の悲しみ、無念さ、これからの人生であっただけに、私共に取りまして、水曜日が来るたびに、彼の姿がみれない残念さ、無念さがこみ上げてくるところです。

昨晩はある生産者の後継者が嬉しそうに電話をかけてきて、「専務生まれました。男の子です。」心から、おめでとくと声をかけました。

今週末には結婚式があります。十月経たずに子供が生まれてくるそうです。政府の少子化対策大臣、視察に来なさい。机の上で考えていたのでは子供は増えませんよ。

いよいよ師走に突入です。一年の締めくくりの月、だんだんその様な感じが薄れてくるのは、私だけでしょうか。

しかし、我々の業界ではやはり、一年の締めくくり、一年の初めを叫び続けなければ、花を飾る習慣、花を愛でる風流を失いたくないものです。